

なつかみの郷

祝祭日は国旗「日の丸」を揚げましょう

君が代は 千代に八千代に

さざれ石の いわおとなりて

こけのおすまで

第29号

令和4年

12月15日発行

奈加美神社

泉佐野市中庄 834
電話 462-7080

神宮大麻全国頒布百五十年記念



(伊勢神宮宇治橋・冬至の日の出)

伊勢の神宮は皇室の皇祖神・天照大御神をおまつりする、私たち日本人の総氏神さまです。その創建は第十一代垂仁天皇の御代、皇女・倭姫命が天照大御神の御教えにより、五十鈴川の川上におまつりになったことに始まります。

古来より国家の祭祀が行われ、かつては天皇以外が幣帛をお供えすることを禁じた「私幣禁断」という定めがありました。しかし、多くの国民が天照大御神の尊い御加護を頂きたいという思いと重なり、平安時代の後期から鎌倉時代にかけて、御師(おし)という神主たちが、御祓大麻という御札を奉製して全国各地に配布し、多くの家々でまつられるようになりました。

江戸時代には「おかげまいり」という伊勢参宮がブームとなり、全国各地でお伊勢講が組織されました。御師は神宮の近辺に屋敷を構え、宿坊を営み、御祓大麻を配布した参詣者等を出迎えました。

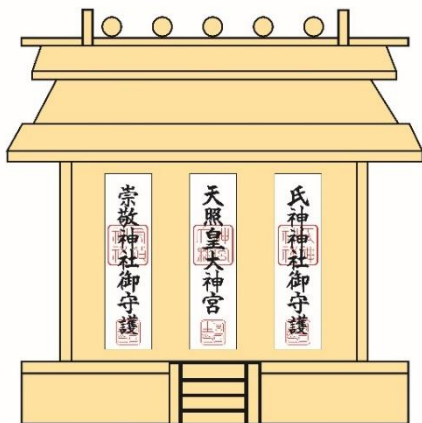
江戸時代の後期には全国の九割近くの家々に御祓大麻がまつられるようになり

ますが、御祓大麻は御師たちが私的に奉製する御札であり、伊勢神宮の公的なものではなく、宿坊経営のように営利を目的としたものでもありました。

明治時代に入ると、神社は国家の宗祀となり、私的な活動を行っていた御師は廃止され、神宮では明治五年に大麻曆製造局が設置され、公的な御札が全国に頒布されることになりました。

今年(令和四年)は明治五年から数えて百五十年の節目となります。この節目を機会に神棚をおまつりされてはいかがでしょうか。

神棚のまつり方 三社づくりの場合



中央に①神宮大麻(天照大御神)、向って右に②氏神神社の御札、向って左に③崇敬神社の御札をおまつりします

通常神棚には伊勢の神宮大麻、氏神・奈加美神社の御札、崇敬者神社(信仰する神社・ご縁を頂いた神社)の御札と、三社の御札をおまつりしますが、神宮大麻と氏神の二社だけでも大丈夫です。

また従来のような神棚をおまつりするスペースが無くても、コンパクトにおまつりすることのできる、現代風に趣向を凝らした様々なデザインの新神棚もごさいます。それぞれの環境に合ったサイズのものをお選び下さい。

神棚まつりをお考えの方はどうぞお気軽にご相談下さい。

〜神恩感謝〜おかげさま〜



伊勢神宮遥拝所

神棚は本来ご利益を願っておまつりするとと言うよりも、日々の安寧を祈り、無事に過ごさせて頂くことに感謝し、手を合わせるためのものです。「おかげさま

です」「ありがとうございます」その謙虚な気持ちをもって日々を過ごし、物事にあたる人におのずと神さまの恵みや運が添えられるでしょう。

今年の大河ドラマ「鎌倉殿の十三人」をご覧になられた方も多かったと思いますが、北条義時の息・泰時は御成敗式目(貞永式目)を制定しています。その第一条に「神社を修理し、神事を専らにすべき事」そして「神は人の敬によって威を増し、人は神の徳によって運を添う。」と続きます。

神棚をおまつりして神様を敬い、ご先祖様の供養も大切にしましょう。日々の感謝の心が開運への道しるべです。

開運 南大阪の神社めぐり



京都や奈良もいけれど、まずは地元の神社から。

今秋「南大阪の美味しいお店」でおなじみのキットプレスから、待望の「南大阪の神社めぐり」が発行されました。

堺より南の泉州地域、富田林市、大阪狭山市、河内長野市の神社六十四社が紹介されています。

表紙には当社の末社・大宮稻荷神社が掲載されています。

神社参拝の作法や御朱印めぐりの作法、各社の見所やかわいい授与品・御朱印などの情報が満載。

南大阪の美味しいお店の特別編も掲載されており、巻末にはお得なクーポンも付いています。お近くの書店やコンビニで販売されていますので、お求めになってみてはいかがでしょうか。(税込み一、〇〇〇円)

泉州地域には延喜式内社、重要文化財や大阪府指定文化財を有する神社がたくさんあります。泉州の神社を巡って、泉州の良いところを再発見したり、御朱印を集めたりと、地元を楽しんでみて下さい。

新しい御守の紹介 わんこにゃんこ御守



今回新たにペットの御守を奉製しました。迎える令和五年の新年より授与いたします。

この御守は他社のペット御守とは違い、本格的な錦地の御守をビニールでコーティングしています。地柄は古来より

魔除けや災い除けを願って用いられる「麻の葉模様」を採用、丸型のシンプルなデザインです。金具で首輪に取り付ける仕様になっており、上品にかわいく仕上がっています。

ペットと共に生活する皆さんにとっては家族の一員。かわいいわんこちゃん、にゃんこちゃんにおすすめの御守です。

初穂料 一、〇〇〇円（おみくじ付）

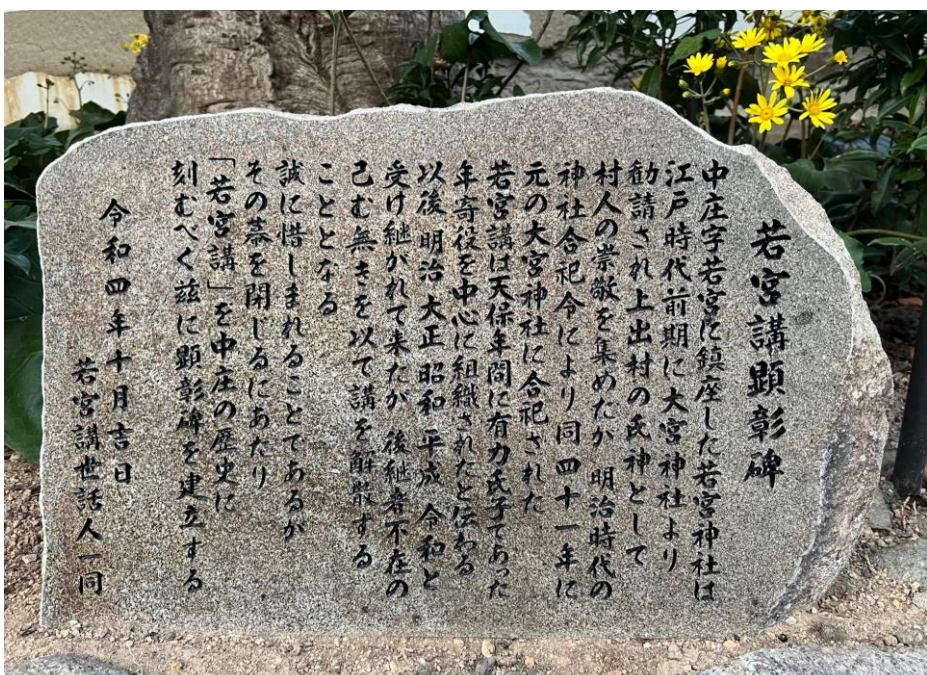
若宮講頭彰碑奉納

奈加美神社の元の社名は大宮神社といいましたが、明治四十二年に中庄・上瓦屋・湊の字々の神社が合祀され、村の頭文字を綴って奈（中庄）加（上瓦屋）美（湊）神社と改称されました。

中庄には江戸時代前期に大宮神社より勧請された、若宮神社がありました。現在神社の神饌田となっている付近（中庄町会館前の市道泉佐野熊取線沿いの熊取の手前）に鎮座し、当地上出村の氏神として村人の崇敬を集めました。明治の神社合祀令により元の大宮神社に合祀されました。

天保年間には若宮神社の運営組織として有力氏子であった年寄役を中心に「若

宮講」が組織され、合祀後も現在まで講組織が受け継がれてきました。今回その後継者が不在となってしまったため、解散することとなり、その幕を閉じるにあたり「若宮講頭彰碑」が奉納されました。拝殿と社務所の間を通過して計知之神へ向かう参道の右側に建立されました。合祀時に若宮神社のなごりとして境内に移設された、「若宮大明神」と刻まれた手水鉢と並んでいます。



若宮講頭彰碑

中庄字若宮に鎮座した若宮神社は江戸時代前期に大宮神社より勧請され上出村の氏神として村人の崇敬を集めたが明治時代の神社合祀令により同四十一年に元の大宮神社に合祀された。若宮講は天保年間有力氏子であった年寄役を中心に組織されたと伝わる。以後明治大正昭和平成令和と受け継がれて来たが後継者不在の已む無きを以て講を解散することとなる。誠に惜しまれることであるがその幕を閉じるにあたり「若宮講」を中庄の歴史に刻むべく茲に頭彰碑を建立する

令和四年十月吉日

若宮講世話人一同



今回、若宮講の氏子連明帖と帳簿（講の出納帳）もあわせて奉納されました。

氏子連明帖には、明治二十年に日本で初めてタオル織機を発明製作した里井圓次郎翁の名も記されています。（上写真最終行）

今後、地域歴史として神社で大切に保管させていただきます。

安産戌の日まいり

当社の主祭神は応神天皇（八幡さま）、そして配祭神には母君の神功皇后がおまつりされております。古事記によると約一八〇〇年前、神功皇后は朝鮮半島に出征した際、お腹に応神天皇を身ごもっており、その時に石を帯の中に巻き付け、帰還後に無事お産みになったことが記されています。このことから神功皇后は安産の神として崇められ、岩田帯の起源にもなったと言われています。安産祈願は一般的に妊娠五ヶ月の戌の日にお祓いを受け、岩田帯を着帯します。戌の日にお参りするのには犬が多産であり、安産であることに因みます。

目出度く子宝に恵まれた際には、戌の日の安産祈願にお参り下さい。安産御守、岩田帯と共に、普段でも簡易にお使い頂ける腹巻型の腹帯もお授けしております。



馬大絵に伝わる奈加美神社
神功皇后と武内宿禰の門弟により描かれたもので、神功皇后と武内宿禰を抱く

令和5年 安産戌の日表

1月	4日(水) 16日(月) 28日(土)
2月	9日(木) 21日(火)
3月	5日(日) 17日(金) 29日(水)
4月	10日(月) 22日(土)
5月	4日(木) 16日(火) 28日(日)
6月	9日(金) 21日(水)
7月	3日(月) 15日(土) 27日(木)
8月	8日(火) 20日(日)
9月	1日(金) 13日(水) 25日(月)
10月	7日(土) 19日(木) 31日(火)
11月	12日(日) 24日(金)
12月	6日(水) 18日(月) 30日(土)



ご祈祷のご案内

お宮参り・安産祈願・七五三厄除け・車のお祓い・地鎮祭住宅入居のお祓い、各種お祓い神道家葬祭・霊祭、神棚の相談等も受付致しておりますお電話にてお問合わせ下さい

公式ホームページ開設
<http://www.nakami.org>



インスタグラム・フェイスイブックス公式ページにフォローを宜しくお願ひします